

平成18年 合同研究会（北海道）報告

日時：平成18年10月20日(金)～22日(日)

内容・場所：見学 黒田邸・札幌ドーム・モエレ沼公園ガラスのピラミッド
合同研究会 ガトーキングダムサッポロ（札幌市）

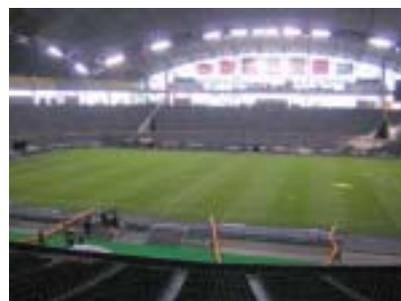
北方圏住宅研究会25周年記念講演会 札幌アспенホテル（札幌市）

見学ノ <黒田邸・札幌ドーム・モエレ沼公園ガラスのピラミッド 10月20日>

札幌千歳空港からJRで移動し、北広島駅に集合しました。まず案内していただいたのは、北方圏住宅研究会の会員でもある「欠陥住宅を考える会」代表の黒田さんのご自宅です。木造の平屋で約30坪の家で、Q値は $1.2\text{W}/\text{m}^2\cdot\text{K}$ 、気密性能は 0.24cm^2 の徹底した断熱・気密の住宅である。断熱仕様は、外壁は高性能グラスウール24K100mm充填＋硬質ウレタンボード75mm、基礎は硬質ウレタンボード85mm、屋根は高性能グラスウール16K280mm充填＋硬質ウレタンボード45mm、天井断熱の部分はブローイング400mmです。窓は、木製サッシトリプルガラス・アルゴンガス入りダブルLOW-E、樹脂サッシペアガラス・アルゴンガス入りLOW-Eで、ドアは木製高断熱タイプを採用しています。梁は通常よりワンサイズ上のものを使用し、将来的な間取りの変更にも対応できるように工夫され、サッシの交換は外装材を壊さずに交換できる等、長く住み続けられるように配慮されていました。暖房は電気温水式セントラルヒーティングの全館暖房で、換気は第3種換気システムです。北海道産の木材を使用し、古材を再利用している箇所もあり、クリ、ナラ、トドマツの無垢のフローリングはあたたかい雰囲気、開口部は大きく明るい印象の住宅でした。



次に野球の日本ハムの本拠地である札幌ドームを見学しました。設計はJR京都駅を手がけた原広司さんで、2002年のサッカーワールドカップの開催を契機に実現されたそうです。サッカーのフィールドは可動式の天然芝で、客席を動かして外に出せる設計で、見学したときはちょうどサッカーフィールドが屋内に入り、天然芝の感触を体験することができました。選手の控え室やブルペンを見せてもらったり、ロッカー室を見せてもらったり、貴重な体験をさせていただきました。銀色の曲線の屋根は印象深く、札幌の広大な土地にも映えていました。



3箇所目に見学したモエレ沼公園は、ごみ処理場として利用された後に公園となった場所で、1988年に彫刻家イサム・ノグチが計画に参画し、公園全体がひとつの彫刻という考えから基本設計が策定されました。2005年にグランドオープンしました。見学に行ったときは、ちょうど日が暮れる時間で、ガラスのピラミッドは良く見えませんが、照明が着き、きれいでした。夏には冬に積もった雪を使用して冷房をしているということで、CO₂削減にも貢献しているそうです。自然の中の、ガラスのピラミッドは四季を通じていろいろな姿を見せてくれそうでした。



合同研究会 / <ガトーキングダムサッポロ 10月21日>

合同研究会は20日に宿泊したホテル、ガトーキングダムサッポロで行われました。北方圏住宅研究会の長谷川先生による開会の挨拶の後、参加者紹介が各会の代表者より行われ、その後会務報告、研究発表、次回の合同研究会開催地である東北フォーラムの吉野先生による閉会の挨拶と続きました。どの会も活発な活動をされており、各会の活動内容を聞くことで、お互いに良い刺激になったのではないのでしょうか。各会の研究発表ではSAH会の会長の山下先生は「長野県で挑戦している無暖房住宅の成果と今後の展望」、東北フォーラムの理事長である吉野先生は「住宅換気に関するコミショニングの必要性」、北陸の快適な住まいを考える会の会長である垂水先生は「ヒートポンプ基礎暖房システム住宅の温熱環境通年実測調査」、北住研の会長である長谷川先生は「北の住まいの改修 - 基本と事例」とそれぞれ題して、発表されました。コミショニングの必要性として、設計、施工で性能を確保していることを確認することや、清掃などの維持管理の重要性がわかりました。また、地域の気候に合わせた暖冷房の方式も今後さらに検討していかなくてはならないと思いました。



北方圏住宅研究会 25周年記念講演会 / <札幌アспенホテル 10月21日>

北海道、東北、信州、北陸の4地域の住宅研究会の中で最も長く続けている研究会である北方圏住宅研究会の25周年記念講演会に参加させていただきました。北方圏住宅研究会の中の5名の講師による「環境時代の北の住まいづくり」と題された講演会で、家づくりの進め方、高齢社会とユニバーサルライフデザイン、省エネ、健康、長寿命な住宅を造るためのトータルバランスの考え方、シックハウスとならない健康住宅づくり、住宅の性能契約と日々の改善、改修の必要性についての講演がありました。



北方圏住宅研究会 25周年記念祝賀会 / <札幌アспенホテル 10月21日>

25周年の祝賀会にも参加させていただきました。北方圏住宅研究会では10年、20年の節目に活動を冊子にまとめたり、北の住まいづくりという本を出版したり、快適な住まいづくりの普及、啓蒙活動を活発に行われてきました。ひとつの会が25年続くということは本当にすばらしく、SAH会としては先輩の会として尊敬し、これからの活動においても見習って行ければと思います。



10月21日 ガトーキングダムサッポロ前で



**信州の快適な住まいを
考える会**

事務局

〒380-8553 長野市若里 4-17-1

信州大学工学部社会開発工学科内 山下研究室

TEL: 026-269-5361

FAX: 026-224-0827

E-mail: sah@mx2.avis.ne.jp